

兵庫県保険医協会北阪神支部・第 29 回総会記念講演 後 援 伊丹市

日本の新しいがん医療

市民公開 入場無料

—低侵襲がん医療の役割—

昨年4月に神戸ポートアイランドで開院した「神戸低侵襲がん医療センター」理事長の藤井正彦先生に、最新の「切らないがん治療」についてわかりやすくお話いただきます。ぜひお誘い合わせの上、ご参加ください。

日時 **10 月 5 日 (日)** 14 時 30 分 ～ 16 時 30 分

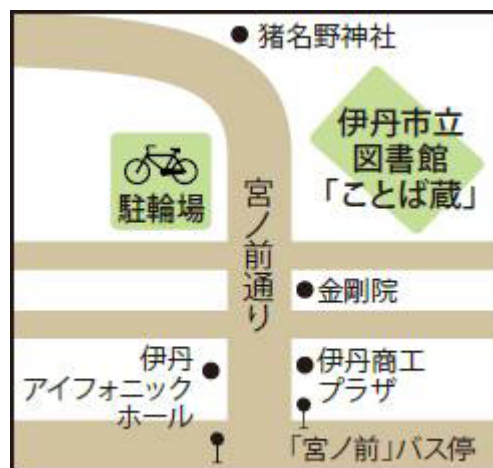
会場 **伊丹市立図書館ことば蔵** 地下多目的室1

講師 **神戸低侵襲がん医療センター理事長・病院長**

藤井 正彦先生



神戸低侵襲がん医療センターは、「小さく見つけてやさしく治す」を基本理念とし、切らないがん治療の専門病院として昨年4月に開院致しました。当センターでは、CT、MRI、PET-CT など最新の画像診断や内視鏡検査などで、がんを出来るだけ早期に診断します。そして、サイバーナイフ、トモセラピー、トゥルービームという3種類の放射線治療装置を用いて、全身のどの部位でも、高精度の放射線治療を全て保険診療で行います。この他、抗がん剤治療やカテーテル治療、内視鏡治療など、外科手術以外のさまざまながん治療を提供します。また、退院後のQOLを維持するためのがんリハビリ、緩和ケアにも力を入れています。個室中心でプライバシーに配慮した療養環境を提供し、心身ともに患者さんの負担を最小限に抑える「低侵襲がん医療」を実践しています。【藤井 記】



※阪急・JR伊丹駅より徒歩約10分。
近隣の有料駐車場をご利用ください。

講師ご略歴 1982 年神戸大学医学部卒業、1990 年～ 91 年米国 Emory 大学留学、92 年三木市立三木市民病院放射線科医長、神戸大学放射線科講師・准教授・部長などを経て、09 年神戸大学大学院医学研究科内科系講座放射線医学分野准教授・放射線科長、12 年 10 月神戸低侵襲がん医療センター理事長・病院長、13 年神戸大学客員教授、現在に至る

お問い合わせは、TEL：078-393-1807 小西・横山・小川まで

(切り取らずにご返信ください) **【 お申し込み 】 FAX: 078-393-1802**

- 総会議事 (伊丹市立図書館ことば蔵会議室 1 13 : 30 ～) に参加します () 人
- 記念講演 (伊丹市立図書館ことば蔵地下多目的室 1 14 : 30 ～) に参加します () 人
- 懇 親 会 (ブルワリービレッジ長寿蔵 17 : 00 ～) に参加します () 人

地区 _____ 医療機関名 _____

氏名 _____

Tel _____ FAX _____

兵庫県保険医協会

北阪神支部
ニュース

2014 年 9 月 25 日号 No. 240

発行者 兵庫県保険医協会北阪神支部
支部長 中井通治

〒 650-0024 神戸市中央区海岸通 1-2-31
神戸フコク生命海岸ビル 5 階

☎(078)393-1801 FAX(078)393-1802

http : // www. hhk. jp /

宝塚社保協第 1 0 回定期総会

社会保障改悪許さない取り組み強めよう

北阪神支部が事務局団体として加盟する社会保障をよくする宝塚の会（宝塚社保協）は 8 月 26 日、宝塚市立西公民館で第 10 回定期総会を開催。加盟団体、市民ら 27 人が参加した。中井通治支部長、脇野耕一副支部長が副会長に再選された。



講師の川西敏雄副理事長

記念講演では協会副理事長の川西敏雄先生が「どうなる医療・介護～医療介護総合推進法成立」と題し講演。2012 年の社会保障制度改革推進法成立以降、社会保障費削減のために次々と法整備が進められ、今年 6 月の医療・介護総合推進法では 19 本もの法律を一括して審議するという乱暴なやり方で改悪が進められたと説明。

その具体的な内容として、医療では、看護師配置が手厚い急性期の 7 対 1 病床を大幅に削減するために、

病床機能報告制度・地域医療ビジョンという制度が導入され、県が病院の機能を管理し、従わない場合にはペナルティもあること、急性期病床削減の動きは今年の診療報酬改定ですでに始まっていることを紹介し、結果として病院は患者さんに早期の退院を迫らざるをえなくなっているとした。

介護では、要支援 1 ・要支援 2 の訪問看護・通所介護を介護保険から外し市町の地域包括支援事業にすること、特養ホームの入居条件を要介護 3 以上に限定すること、介護利用料の自己負担を引き上げることなどが進められようとしていると説明。

結果、入院もできず、介護保険も利用できない介護・入院難民が深刻化していくと解説した。

(2 面につづく)



あいさつをする脇野耕一副支部長

(1 面のつづき) 閉会挨拶にたった脇野先生は「安倍政権の高支持率は、株高に支えられているが、株価を引き上げるため、年金財源も投入するという。失敗したら、安倍首相が責任をとってくれるのか。社会保障を切り捨てる性格がここに現れている。社保協が年金天引き日の街頭宣伝を続けていることは重要だ。子ども医療費中 3 まで無料を近隣市町にも拡大できるよう、大いにがんばっていききたい」と会を締めくくった。

会 員 投 稿 コ ー ナ ー

たかな句会と私

宝塚市 澤村 いるふ (俳号)



お酒を片手に和気あいあいとした雰囲気です

私は、「雲雀」という俳句結社の主催する「たかな句会」に毎月第 4 土曜日の午後 7 時に参加させていただいている。「雲雀」の主事は宝塚医師会、保険医協会の会員で精神科開業の岡本純子先生で、発行人は品川純胡 (岡本先生の俳号) となっている。「雲雀」は月刊誌で 2014 年 9 月現在で 69 巻第 9 号と 69 年の歴史があり、創

始者は四国松山の純胡先生のお父様の品川柳之氏である。その後お兄様の品川嘉也先生 (日本医科大学の教授で脳生理学者) に引き継がれたが、若くして夭逝されたため三代目として現在に至っている。

メンバーは純胡先生のクリニックのスタッフと精神科医の開業医を中心とした医師の集まりに、何故かあまり上品でない泌尿器科医の私がビールや焼酎を片手に加わってわいわいとやっている。七句投句の七句選、主宰には二十句選をしてもらってその中から天地人をつけてもらい選評をしてもらい、その後は世間話になる。

バックナンバーを見ると「たかな句会」が掲載されたのが 2005 年の 7 月号で、8 月号に「病床の窓に戯るかたつむり 新 (私の名前) 」とあるので、こんな私が 10 年近くも参加し続けているのも純胡先生の御人徳と言う他はない。(3 面につづく)

(2 面のつづき) まず句の巧拙に拘わらず選句してくれる、高飛車な講評は一切なし、朱筆を入れるにしてもやりわりとした物言いで、お酒はいくら飲もうがお咎めなし。協会事務局の小西さくらさんも参加され初めて創った句も季語がないなどと目くじらを立てることもなく、「おもてなしの句を創られましたね」と持ち上げ、恐れ入りましたといったところ。

ちなみに「たかな」とは筍のことで、育ちすぎて大藪 (医者) にならないようにと主宰が名付け親である。そんなわけで堅苦しさは一切なし。ぜひ皆さんもビール片手に参加してみてください。

※兵庫保険医新聞 4 月 25 日号に岡本純子先生のインタビューが掲載されています。ぜひご覧ください。



「たかな句会」メンバーのみなさん



☆北阪神支部ニュースへの投稿を募集しています

支部ニュースへの投稿を募集しています。

日常診療にかかわることや、主張、趣味のお話などお寄せ下さい。

TEL 078-393-1801 / FAX 078-393-1802 e-mail junki@doc-net.or.jp 担当；横山まで

お知らせ

■兵庫県保険医協会のホームページは

<http://www.hhk.jp/>

*生涯研修に役立つ各種研究会のご案内、おトクで安心な共済制度のご紹介、日々の協会活動のご報告を掲載しております。



第 326 回幹事会だより

9 月 4 日 (木) 伊丹市立産業・情報センター 会議室 B

◆北阪神支部の会員数と組織率

9/3 現在 医科 323 人 (71 %)、歯科 171 人 (53 %)

◆当面の支部活動

10 月 5 日 (日) 第 29 回支部総会

記念講演「日本の新しいがん医療—低侵襲がん医療の役割」

講師：神戸低侵襲がん医療センター院長 藤井正彦 先生

伊丹市立図書館ことば蔵 地下多目的室 14 : 30 ~ (4 面案内)

以上を開催予定

お問い合わせは TEL 078-393-1807 小西・横山・小川まで